

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-〇〇〇〇
施設名	昭島ゆりかご第二保育園
施設所在地	昭島市田中町3-5-20
法人名	社会福祉法人ゆりかご会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

どうしたら上手にできるかな？（運動遊び）

<テーマの設定理由>

運動技能の向上には、体を動かすこと、話を聞くこと（アドバイスなど）が大事なのだということを経験していく。

楽しく体を動かして、身近なともだちと「できた！」を共有し喜び合いながら、一緒に達成感を味わい、チーム意識の芽生えにつなげる。

2. 活動スケジュール

- ・「あたらしいゲーム」として、プロジェクションマッピング式のゲーム「トレキング」を紹介し、みんなで楽しむ
- ・卒園児交流の場で、チーム戦を行いスコアを競う（導入・7月）
- ・どうしたらスコアが伸びるかをこどもが中心に考える（8月）
- ・自分の「得意」「不得意」を知る（8月）
- ・さらに遊びを深める中で、体の使い方が上達する。（9月から3月）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備した素材】

- ・トレキング
- ・フロアマット
- ・滑り止め

【環境設定】

- ・安全に楽しめるよう、広い場所を確保した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・一通りのゲーム（５種類）を試し、各自が運動の好き嫌いや得意不得意があることを知る
（例： 足と手を一緒に動かす運動 片足を軸に対足で動く「ピボット」
タイミングに合わせて的を踏む など）
- ・一つ一つの動きは単純なので、要領を得た子はスコアが伸びる
- ・スコアが伸び悩む子に、動き方を教えるなどの協力が生まれる
- ・一人遊びではなく複数人で取り組むことで、「できた！」をみんなで喜び、チーム意識が高まる

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・最初のころ、真剣に取り組む子は周りの声が聞こえなくなっていたが、動きがかたかった子も体の力が適度に抜けてくると動きにゆとりが生まれ、視覚刺激にからだがついてきている様子が見られた
- ・競争ではないが、自らのスコアにはとても興味があったようで、「次は〇〇点をこえる！」と意気込む姿があった
- ・「がんばれー」とともだちを応援する姿が見られた
- ・大人が「片足動かさないでやってごらん」などと声をかけると、すぐに実践し成果を得て喜ぶ子どもの姿が多く見られた



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今までになかったツールの導入であったが、子どもたちの柔軟な受け止めと理解力はすごいと感じた。みんなで同じ動きをする表現あそびでは気づけなかった、個々の瞬発力や判断力、運動機能（足や腕などの動き）の発達状況を知ることができた。動きのヒントを保育者が伝える場面を多く作ってしまったが、子どもたちで体の動きについて考える時間を多めにとってあげてもよかったと感じている。次年度は、ゲームの内容や動きの速さなどを調整し、３歳児でも一緒に楽しみたい。